令和８年度 特別職報酬等審議会（第１回）会議録

日　時　　令和８年 10 月 21 日（月）午前９時３０分

会　場　　第３委員会室（西館８階）

委員定数　　７人

出席委員　　５人（岩崎　正弥会長、佐藤　元英委員、鈴木　真理子委員、吉見　正樹委員、山本　貴士委員）

人事課長	ただ今から、令和８年度　特別職報酬等審議会を開会いたします。委員の皆様におかれましては、お忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。 皆様には昨年の６月 25 日より当審議会の委員を委嘱させていただいております。委員の任期は２年間となっておりますのでよろしくお願いいたします。 それでは以降の会議の進行につきましては、会長である岩崎様にお願いいたします。岩崎会長、よろしくお願いいたします。
会長	では次第に沿って進めてまいります。 ２．特別職報酬等改定の考え方、基準についてです。 これは昨年度からの継続審議事項となっておりまして、特別職報酬等改定についての考え方を改めて審議をしたいと思います。 それでは事務局から説明をお願いします。
人事課長補佐	資料１の説明
会長	昨年度の審議を踏まえて、定量的な基準及び定性的な基準ということで、改定の考え方を明確にしたということが今回の提案と受け止めております。 それでは、説明のあった資料１についてご意見、ご質問のある方は

	よろしくお願いいたします。 （意見等なし）
会長	それでは、本審議会における報酬等改定の考え方について、事務局の示す案が適当であるということでよろしいでしょうか。 （異議なし）
会長	それでは、承認いただいたということで次に進めたいと思います。 これからの審議においては、今決めた考え方に基づいて審議を継続していくことになります。 それでは引き続き今年度の状況について審議を行っていきたいと思います。 基準の①累積改定率については、資料１の中でも説明がありましたが、市長、副市長、議員のいずれの役職も２％を超えているという状況です。 しかし、定性的な判断も含めて総合的に考えていかなければいけないので、そのことを踏まえて、その他の状況について事務局から改めて説明をお願いいたします。
人事課長補佐	資料２～資料６の説明
議事課長	資料７の説明
財政課長	資料８の説明
会長	資料２から８に関しまして事務局から説明していただきました。何かご質問等があればよろしくお願いいたします。

委員	市長・副市長の役職ですが、初めて見るとこんなにたくさんの仕事をしているのかと思いますが、顧問など中には名前だけのものもあると思います。
総務部長	会長や副会長、委員長をやっているところは、職責としてそこに割く時間があると思いますが、顧問といわれるものは充て職のものも中にはあるかと思います。
委員	市長、副市長、議長たちの役職について、１人いくつまでという上限はあるのでしょうか。
総務部長	１人いくつまでという上限はなく、特別職の役割として、資料にあるように多くの会議に出ています。
委員	特に市長については、いろいろな会議が重なる場合に、市長としての重要度の高い方に行ってほしいと思います。そうしたことがきちんとできているかどうかが、市長の役割として報酬に跳ね返ってくるのだと思います。
総務部長	会議によって重みが違うということはありますので、例えば、役職のない委員であっても、中核市市長会などには基本的に出席するようにしています。仮に会長や副会長であっても、代理を立てられるようなものについては、会議が重なった場合に他の公務を優先させていただく場合もあります。
委員	豊橋市では議員が視察に行った時のレポートを見ることができるようになっているのでしょうか。

議事課長	（政務活動費については）ホームページで公開していますし、じょうほうひろばにも紙ベースで公開しています。
委員	市長が最も公務が多いですが、空いている日に予定を入れると公務が多くなってしまうと思います。副市長や副議長もいるので、そうした部分を見直していけば、それに見合った報酬になるかと思います。
委員	豊橋市の特別職の報酬は高い方になるのでしょうか。地域性があるので単純に比較してはいけないと思いますので、豊橋市の物価指数や平均給料をある程度参考にした方が良いのではないかと思います。また、議員によって活動状況に差があるように思います。
委員	今は議員専業の人が増えてきていると思いますが、優秀な人が選挙に立候補して、市長や議員になることは、市民や地域にとって良いことなので、優秀な人が立候補してくれるような賃金体系にしておかないといけないということも一方ではあると思います。議員によって活動状況に差がある中で、どのくらいの報酬であれば優秀な人が議会を運営してくれるのかということもあると思います。議員になりたくないという町でも困ると思いますし、豊橋市は違うと思いますが、議員に立候補する人が少ないということが全国的にあると思います。
総務部長	最近は職業として議員を選んでいる方がいらっしゃいます。特に小さな町村で、かなり低い議員報酬のところは、議員になり手がおらず、定数を割っているところもある状況です。 また、豊橋市の特別職の報酬ですが、人口類似市や中核市でみると、真ん中あたりに位置している状況です。地域によって物価や最低賃金が違うという点で、県内中核市と比較すると、豊橋市は下の方に位置しており、高いわけではないことが見てとれるかと思います。

委員	金額だけを見るとそうですが、市民が感じるのは実質的な働き方だと思います。
会長	いろいろとご意見が出ていますが、その他にございませんか。 （意見等なし）
会長	それでは、今年度は市長からの諮問はありませんでしたが、市議会議員の議員報酬並びに市長及び副市長の給料の額については、今年度は現行額に据え置くことが適当ということでよろしいですか。 （異議なし）
会長	それでは、皆様にご承認いただいたということで、今年度も現行額に据え置くことが適当ということにいたします。 以上をもちまして、本日の審議会を終了いたします。ありがとうございました。（終了）